

清水合金製作所

連載シリーズ第2弾

営業マン

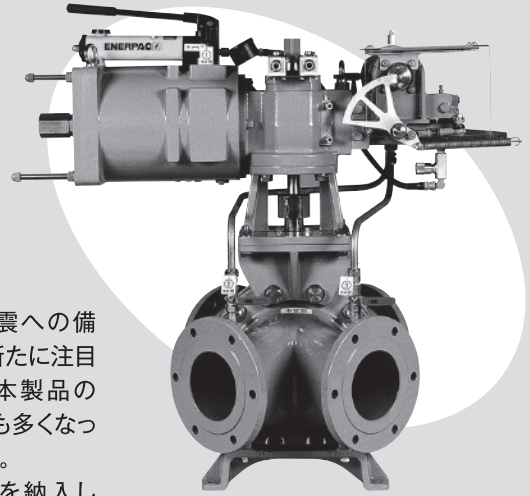
数珠つなぎ②

仙台営業所
係長 関堀 章氏



イチオシ
製品

ツ〜ウェイ 切替形緊急遮断弁



弁3台統合し制御シンプルに アフターメンテにも注力

2番手は仙台営業所係長の関堀章氏。11年間の東京営業所勤務を経て仙台営業所に異動し、今年で入社26年目を迎えた。「お客様が困ったとき、一番に電話をかけてもらえる存在になりたい」という思いを胸に、水道事業体や設計会社、管材商社などで日々営業活動を行い、情報収集や製品セールス、納入製品のアフターサービスなどにきめ細かく取り組む。現在は秋田、山形、福島県の3県を担当している。

これまで数多くの営業経験を積んだ関堀氏だが、駆け出しの入社1年目に受注までこぎつけた震災対策用貯水槽専用の緊急遮断弁「ツ〜ウェイ切替形緊急遮断弁」に強い愛着と、完成度の高さを感している。

配水管と接続された貯水槽は平時、水道管路の一部として機能し、地震時などの非常時には消火用および飲料用として貯留水を利用できる。

ツ〜ウェイ切替形緊急遮断弁の特長について「貯水槽の流入側および流出側の緊急遮断弁と開放弁の3台を連動させて運用していたものを1台に集約し、シンプルな制御で動作の安定性を高めました。また、小型軽量化を実現したことで貯水槽の上部に無理なく設置できます。そのため、貯水槽と弁室の間で相対変位が発生せず、両設備間の管が破損するリスクも低減できます」と説明する。

シンプルなシステムのため製品説明もしやすく、早い段階で単独営業を任された。「入社1年目は当時の東京営業所長に何度か同行し、セールストークを学びました。ほどなくして一人で営業するよう指示を受けた時は驚きましたが、シンプルな製品ですのでお客様に説明しやすく、利点を直感的に理解頂いたことで採用が決まりました。製品そのものの完成度が高いため、新人でも過不足なく魅力を伝えることができるといった判断だったのだと理解しました」と振り返る。

近年は、震災対策用貯水槽の設置場所に変化が見られると話す。「従来の災害避難場所である学校や公園、官公庁の駐車場などに加え、道の駅への整備計画が増加傾向にあります。道の駅の防災機能を強化する国土交通省の方針に沿うもの

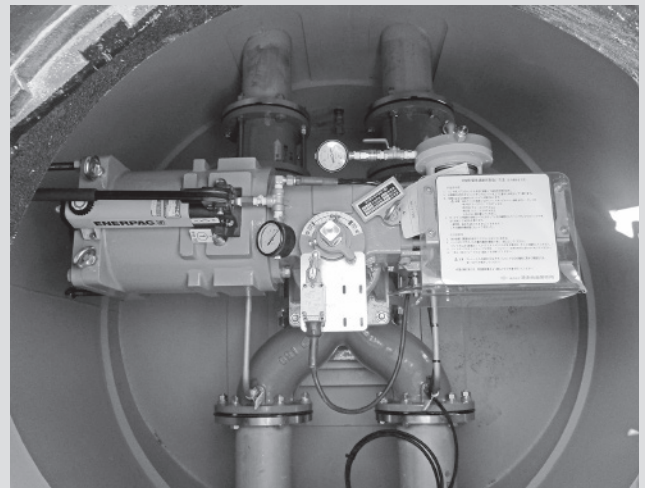


弁の作動状況を
地上で確認できる

で、大地震への備えとして新たに注目を集め、本製品の引き合いも多くなっています」。

初号機を納入した平成8年度から着々と採用実績を伸ばし、ニーズに合わせ多彩な制御方式に対応する。「水圧低下の感知方法から遮断動作、復帰操作まで電源なしで完結できる`圧力感知自力式、のほか、任意の段階で電気制御を行うことも可能です」。

設置後も積極的に客先に訪問するよう心がけている。「定期的なメンテナンスを行う際は、経験豊富で優秀な技術社員と連携し作業を行うなど、アフターサービスも万全の体制で臨んでいます。是非安心してお使い頂きたいですね」と笑顔を見せ、今日も営業車のハンドルを握る。



道の駅への整備需要が増加している

長岡教授のコメント



災害対策貯水槽は多くの事業体において数多く設置されているが、蓄えられた水を非常時において遮断弁によって本管から切り離して安全な水を確保することが必要であり、この遮断弁は、ツ〜ウェイ構造としたちょっとした工夫でコンパクト化などの大きな効果を上げている発明である。

感知システム、復帰作業、作動表示装置などにおいても多くのパターンが用意され、貯水槽の形態や各事業体のニーズに合わせたものを選択できるようになっているところも、きめ細かい聞き取り作業などによって実現された製品であると高く評価したい。